



大分障害者職業センター

■ 所在地：別府市上野口町3088-170

■ TEL：0977-25-9035

■ 運営主体：独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

■ 支援体制：障害者職業カウンセラー 5人

ジョブコーチ6人

評価アシスタント(職業準備支援)2人

リワークアシスタント2人



障害者職業センターとは

職業紹介以外の就労における全般的な支援、障害者手帳の無い人でも働く事に困っている人が対象になります。「うつ病」等で休職中の人の職場復帰サポートもしています。

障がい者に対する支援

■ 職業準備支援

色々な軽作業を通して就職に必要な基礎体力や集中力を養い、また職場のルールやマナーなどの基本的労働習慣を身につけるための支援をしています。

■ ジョブコーチ支援

実際の現場にジョブコーチが訪問し、障がい者には職務を分析して仕事の進め方や対人関係をスムーズにする方法、就業生活全般をアドバイスします。事業所に対しては障がい特性を理解してもらい、状態に応じた対処法、指導方法などのアドバイスを行っています。また、労働条件など雇用管理に関する助言もしています。

■ 精神障害者総合雇用支援

「うつ病」など心の健康問題による休職者の職場復帰(リワーク)の支援。障がい者だけでなく、一般の方も受け入れています。同センターでの軽作業や事務作業、プレゼンテーションなどを通して体力や集中力の向上を目指しています。また、グループミーティングや個別相談などをとおして対人スキルで新たな視点を発見する手助けなどを行っています。

企業に対する支援

障がい者とどう接して良いかわからない、障がい者を受け入れるために必要な環境がわからないなど、受け入れる企業側の悩みを改善するアドバイスをします。

また、障がい者の適応状況が悪くなってきたときの対応など、実際に働いている障がい者と現場の従業員さんとの関係改善を図る取り組みもしています。

就業支援のプロセス



就労中の障がい者を雇用中の企業から「半年ほど経っても成長が見られない」との相談。具体的には①単独作業ができない、②指示を聞き入れない、③作業に対する飽きと慣れで仕事はかどらない。



本人と相談したところ、「自分では頑張っているつもりだが、仕事に対する慣れと甘えが出ていた。」「作業のやり方が自己流になっていた。」とのこと。企業側の対応を聞くと、〇〇ちゃんと呼ぶなど、子ども扱いをして、一社会人として扱っていない面が見えてきた。



企業側に「さん付け」で呼ぶようお願いしたほか、朝礼に参加させて社員の一員という認識を持たせるようアドバイス。本人には、給料をもらう以上、学生気分は捨てて社会人としての自覚を持つように伝えた。また、作業面では重要な工程を処理したら必ず報告するパターンを構築。作業手順も細分化し、チェックしながら進める事で単独作業ができるようになった。双方がお互いに改善し、以前よりよい関係が築かれている。

担当者コメント

主任障がい者職業カウンセラー 小川 倫央さん

障がい者雇用は「ご縁」に近いものがある、この企業（この仕事）ではうまくいかないが他ではうまくいく、という巡り合わせがあります。

企業側の障がい者に対する誤解、障がい者本人や家族のあきらめなどが高い壁になっていますが、誤解が解けてうまくいっているケースも多くあります。まずは就労のチャンスを与えていただいて、私たちも全力でサポートをしていきます。